



こどもの「**すくすく**×**わくわく**」をおうえん

とうきょう すくわくプログラム

活動報告書

久米川なかよし保育園

よつば組(2歳児)

1 活動のテーマ

食育

2 問いを考える

身近な食べ物に興味を持ち触れる。

5月 種植え・育てる。
6月・7月 水やりをしながら、苗の生長過程を観察。
8月・9月 収穫したものを味わい興味関心を高める。
10月・11月 色々な食材に興味に興味を持ち、触れる。
12月・1月 自分で作って食べる。
2月・3月 自分で盛り付ける。

3 環境をデザインする 活動のために準備をした素材 や道具

- ・種、苗
- ・水やりのジョウロ
- ・おぼん、お皿
- ・食育関係の絵本

本活動に向けて、栽培に使用する種・苗、水やり用のジョウロを準備した。
また、お盆やお皿を用意し、育てることと食べることにつながりを感じられる環境を構成した。
食育に関する絵本を併せて用い、活動への理解と関心が深まるようにしていく。

4 探究活動の実践

～野菜を育てる～

・ 活動内容

プランターに野菜の種や苗を植え、保育者と一緒に育てる活動を行った。
子ども達は、水やり用のジョウロを使い、順番に水をあげながら、野菜に触れる経験をした。

・ 子どもの姿

最初は、小さなバケツで水やりをすると、水が多すぎてしまったり野菜ではなく自分にかけてしまいびちょびちょになってしまう子が多かった。水のあげ方を変えてペットボトルのジョウロを一人ひとりに渡したら水の量などの加減を工夫しながら野菜たちにお水をあげることができた。
野菜を見つけると指さしをし、「あった」「とれた」などの言葉で喜びを表していた。
収穫した野菜を大切にカゴに入れ、保育士や友だちに見せようとする姿が見られた。



ジョウロ
ちょうだい!!



どうぞ!!



ボクもとるっ!!



4 探究活動の実践

～食材に触れる～

・活動内容

野菜や果物などの食材を用意し子どもが実際に手に取って触れる活動を行った。食材を見たり、触ったり、匂いを感じたりしながら保育士と一緒にかかわる時間を設けた。

・子どもの姿

食材を手に取り、じっと見つめたり、匂いを嗅いだりして興味を持つ子や慎重に食材にかかわる子もいて様々な姿が見られた。

ゴシゴシする～



サツマイモ??



くさい…
(穴が開き)
みて～!!



あれ…??



早く食べたくてよだが…



4 探究活動の実践

～作って食べてみよう～

・ 活動内容

振って作れるおにぎりやラップを使ったおにぎり作り、パンに具材をのせるサンドウィッチ作りを行った。子ども一人ひとりが食材に触れ、自分で振る、握る、のせるなどの簡単な工程を経験した。アイラップでのおにぎり作りが子どもたちには難しかった為ラップに変更し作りやすくなった。完成したおにぎりやサンドウィッチを自分で食べ「つくること」と「たべること」がつながる体験となった。

・ 子どもの姿

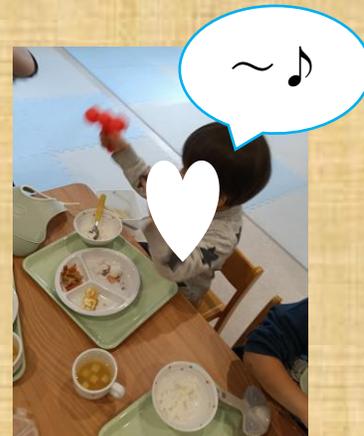
- ・ 具材を選んでのせたり、パンの上に具材をのせる際、慎重に手を伸ばし、集中して取り組む様子が見られた。
- ・ 完成すると嬉しそうに見せ合い、自分で作ったものを意欲的に食べていた。
- ・ 次回のサンドウィッチで挟みたい具材を会議をして一人ひとりに聞き、色々な具材が出た。調理師さんをお願いをし用意してもらった。
- ・ アイラップの袋でのおにぎり作りでは袋や手にご飯粒がたくさんついてしまい作りにくそうだった。作り方を変えラップにすると力加減等を工夫しながら自分なりにおにぎりを作ることができた。



これも(はさんだ)いい??



自分で作ったサンドウィッチおいしい!!



～♪



手が…



4 探究活動の実践

～おべんとう作り～

・ 活動内容

遠足に向けて、おままごとの食材やお弁当箱を使い、お弁当作りの遊びを行った。子どもたちは好きな食材を選び、お弁当に詰める中で「どれにしようかな」と考えながら関わっていた。完成したお弁当を見せ合ったり、カメラで自分で撮って保護者に提示して見せた。

・ 子どもの姿

「これ」「つぎ」と言葉や指さしで選びながら関わる姿が見られた。自分で作ったお弁当をカメラで嬉しそうに何度も撮る姿があった。保育士に「みて」と声をかけ、自分の作ったお弁当を見てもらおうとする姿が見られた。



これと～
これと～
(中身が果物
だらけに
…(笑))



おいしい
お弁当が
できたよ☆



いただきます!!

どんなお弁当が
できた??



子ども達が食材に触れたり、作ることを楽しむ姿が多く見られた。

「子どもの感じ方がおもしろい」「新しい気づきがあった」との声もあり、保育者にとっても学びの多い活動となった。

自分たちで野菜を育て収穫することによって進んで苦手な食材を一瞬でも食べられることができたのでよかった。

振り返り

野菜の栽培では、暑さや虫の影響により十分に育たない結果となった。環境への配慮や管理方法について見直しが必要であると意見が出た。

普段食べている食材を自分の手で触れたりとかで感触を感じることができたことがよかった。繰り返し行うことで、前回触れなかった食材に触ることができた子もいてよかった。